

アンテナショップ



アンテナショップ砥部町
渋谷区神宮前にあるアンテナショップを視察。外国人を含めた多くの顧客で賑わっており、砥部焼の人気の高さを実感した。夜は東郷記念館で開催されたレセプションに出席し、砥部町出身で東京に在住されている皆さんとの親睦を深めた。

豊洲市場青果卸売市場
東京シテイ青果(株)の職員の方に、市場内の競り状況及び機械設備などを案内していただくと共に、同社鈴木社長のお話をお聞きすることができた。今後は、食料安保障の考え方が必要とのお話が特に印象に残った。



豊洲市場

日本補聴器販売店協会
○音を取り戻し社会参加へ
個人の難聴への理解が重要である。高額な商品のため、自治体の支援があれば装用率が上がり、認知症の予防にもつながる。
公民連携事業(オガールプロジェクト)
○民間に委ねる勇気があるか
人口3万人の紫波町で、町の再開発事業として、公民一体となって塩漬けの町有地再生に取り組み、完成した集合体である。
○町づくりは不動産の価値の向上
人が集まればサービス産業が発生し、活気が生まれ、高い不動産でも購入される。不動産価値の向上は結果、町の税収アップにつながる。



オガールスペース (岩手県紫波町)



荒浜小学校

東日本大震災11年後の様子
○町が消え、救助までの27時間の恐怖
2011年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震が発生した。M9という国内観測史上最大規模の地震である。視察した仙台市荒浜小学校は海岸から700mの所にあり、近くには800世帯の集落があったが、地震発生1時間後に津波が押し寄せ、集落は跡形もなく消えていった。自然の恐ろしさである。避難民320人が孤立した。地震発生から27時間後全員避難することができた。子どもたちにとっては恐怖の27時間となった。

議会広報常任委員会 (11月8日～10日)



美咲町にて研修

岡山県美咲町
議会広報特別委員会

美咲町では、補正予算、委員会審査など、堅苦しい数字を並べるのではなく、行政用語や難しい熟語は使わず、絵コンテなどを用いて目をひくような配置作りを行っていた。一般質問は、質問の意図が分かりやすいよう、質問者自身がまとめていくとのことだった。

視察で良いと思ったことは取り入れて、読みやすい議会だより作りを心がけたい。

鳥取県大山町
議会広報常任委員会

委員は議会だより編集の際、集まる前にタブレット端末を活用して目を通していき、効率よく編集作業を進めていた。一般質問も、質問者自身がタブレットで編集しているとのことであった。

町民に興味を持ってもらえるように、視察研修で良いと思ったことは取り入れ、表紙や見出し、レイアウト、写真など様々な工夫をしていた。

研修内容を生かした議会だよりに取り組みたい。



大山町にて研修

議会運営委員会 (11月16日～18日)



北栄町にて研修

鳥取県北栄町
〇風力発電を利用し脱炭素社会を

平成17年度に約27億円を投資して9基の風車を建設し、「二酸化炭素の削減・エネルギーの地産地消」等、地域の特性を利用した風力発電に取り組んでいる。

売電利益(年間約2億円)を活用して住宅省エネ改修補助金を設ける等、町全体で地球に優しいまちづくり積極的に取り組んでいた。

鳥取県美郷町
〇国保診療所の現状と課題

美郷町は人口4449人(令和3年3月末時点)で高齢化率(65歳以上)が47.6%と、人口減少と少子高齢化が進んでいる。

国保診療所の受診者及び診療収入は減少し、赤字運営が続いている。高齢化により往診を希望する住民も多いが対応できず、町外の医療機関に往診および訪問診療を依頼しているとのことだった。

過疎地域での医療には限界があり、オンライン診療の導入等、検討する時期と感じた。



美郷町にて研修